CASBEE®-建築(新築)　評価結果

■使用評価マニュアル：CASBEE-建築(新築)2024年版　I使用評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2024_v1.22

1-1 建物概要

建物名称	倉庫	階数	地上4F
建設地	神奈川県横須賀市久比里2丁目1-1	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	30 人
地域区分	7地域	年間使用時間	2,130 時間/年(想定値)
建物用途	工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2029年3月　予定	評価の実施日	2026年4月2日
敷地面積	2,740 ㎡	作成者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所
建築面積	1,805 ㎡	確認日	2026年4月7日
延床面積	6,585 ㎡	確認者	株式会社伊藤喜三郎建築研究所

1-2 外観

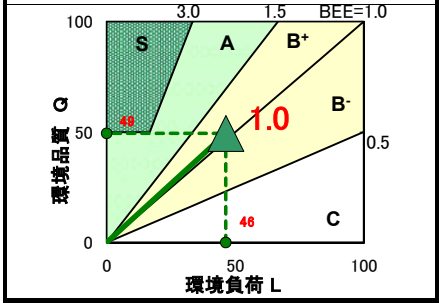
外観パース等

図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

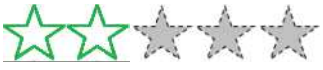
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE =1.0

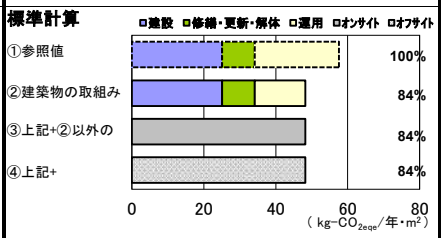
S: ★★★★★　A: ★★★★　B+: ★★★　B-: ★★　C: ★



2-2 ホールライフカーボン(温暖化影響チャート)

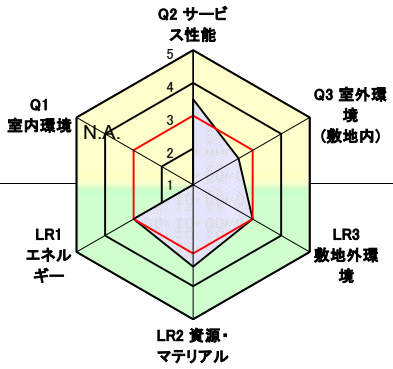


30%: ☆☆☆☆☆　60%: ☆☆☆☆　80%: ☆☆☆　100%: ☆☆　100%超: ☆



このグラフはLR3.1「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたWLC 排出量の目安で示したものです。④は参考として運用分をBEI+で表示しています。

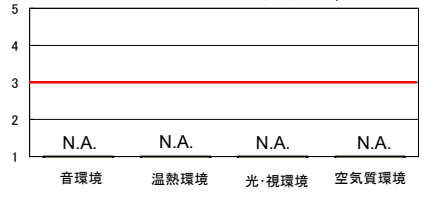
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



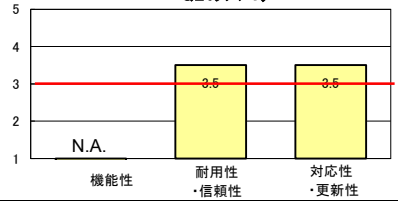
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質　　Q のスコア= 2.9

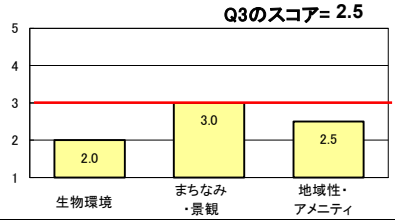
Q1 室内環境　Q1のスコア= 0.0



Q2 サービス性能　Q2のスコア= 3.5

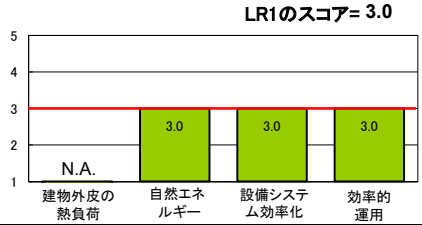


Q3 室外環境（敷地内）　Q3のスコア= 2.5

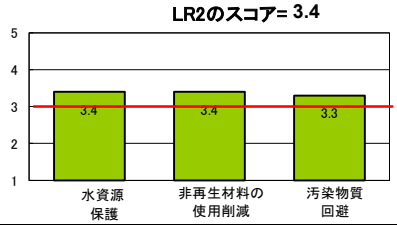


LR 環境負荷低減性　　LR のスコア= 3.1

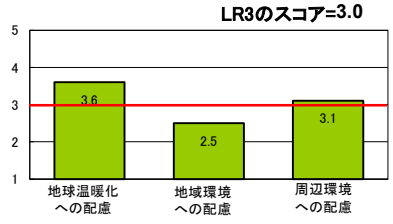
LR1 エネルギー　LR1のスコア= 3.0



LR2 資源・マテリアル　LR2のスコア= 3.4



LR3 敷地外環境　LR3のスコア=3.0



3 設計上の配慮事項

総合

・建物は、自衛隊物品を格納する倉庫である。天井高さの確保、比較的耐久性のある配管素材の採用、配線配管部の点検口個数の確保に努め、内部機能の変化に柔軟に対応した施設の長寿命化を図る。また外部建具の高遮熱断熱複層ガラスの採用、設備機器導入を省き熱源配管・空調ダクトを抑えることで建物の熱負荷の抑制に配慮した。

その他

・特に無し

Q1 室内環境

・換気通風及び日射調整について配慮し、使用する建築材料は建築基準法規制対象外となる材料についてホルムアルデヒド放散量規制対策品を使用している。

Q2 サービス性能

・建物の外部に面する建具、屋外に設置する設備機器は、塩害及び風圧に対して配慮した。

Q3 室外環境（敷地内）

・景観条例を含む景観への配慮に努めている。

LR1 エネルギー

・建物の外部に面する窓には高遮熱断熱複層ガラスを採用し、照明器具を省エネタイプとするなど、建物の熱負荷の抑制に配慮した。

LR2 資源・マテリアル

・グリーン購入法適合品である衛生設備を採用し、建築材料はリサイクル可能な材料の使用に努めている。

LR3 敷地外環境

・特に無し

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency（建築環境総合性能評価システム）
■Q: Quality（建築物の環境品質）、L: Load（建築物の環境負荷）、LR: Load Reduction（建築物の環境負荷低減性）、BEE: Built Environment Efficiency（建築物の環境効率）
■「ホールライフカーボン(WLC)」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の温室効果ガス排出量のこと。ここでは、建築物の寿命年数で除した年間温室効果ガス排出量で表示。
■評価対象のWLC排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される